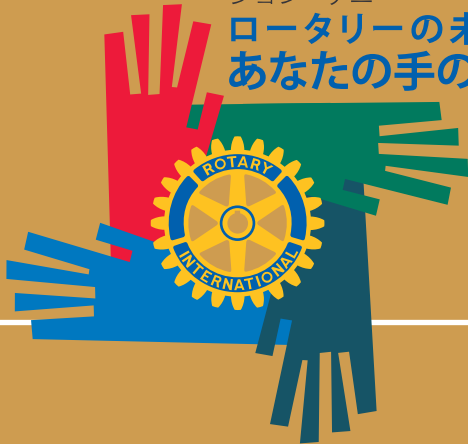


2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ
ジョン・ケニー

ロータリーの未来は
あなたの手の中に



会長／対馬健一 幹事／中出敏彦

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2009▶2010 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

親睦でクラブの活力と結束を、 そして奉仕は足もとから

プログラム

●本日

続・我が生き立ち②

深瀬会員・中川会員

ご夫人誕生日

3月1日 松田 陽子

●次週予定

No. 2408

第31回 2月24日

出席報告

前例会

会員総数	44名
出免会員	4名
出免出席	3名
出席会員	43名
出席率	100%

前々会

第28回 2月3日

出席会員	32名
メイクアップ	3名
修正出席率	77.5%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🔪 会長報告

- 次年度2510地区ガバナーの佐々木様よりアメリカ・サンディエゴにて研修中の報告があり、次年度テーマ「地域を育み大陸をつなぐ」に決定したことのお知らせがありました。
- 平成21年度留萌南部ブロック小中特別支援学級合同学習会卒業式の案内をいただきました。

📁 幹事報告

- 1) 市役所経済港湾課より、食のシンポジウムの案内を受領しました。各テーブルにチラシを配付しておりますのでご覧ください。

📁 3分間情報

会員研修委員会 越野副委員長
「ロータリーの誕生とその成長」

20世紀の初頭のシカゴの街は、著しい社会の発展の影で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどその頃、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリー

第30回 2月17日(水) 天候/雪

クラブが誕生しました。それからは、志を同じくするクラブが次々と各地に生まれ、国境を越え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数33,790、会員数1,234,527人(2009年6月30日R I公式発表)に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業家、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に目を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしています。

日本では1920年(大正9年)東京ロータリークラブが世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。その後、第二次世界大戦で脱退し、1949年再び加盟しています。現在、日本全体でクラブ数は1,301クラブ、会員数92,806人となっています。(2009年10月現在)

(ロータリーの友2010年1月号より)

📖 プログラム

創 立 記 念 夜 間 例 会



WEEKLY REPORT



第30回 2月17日(水) 天候/雪

